

自治体 あいちの仲間

発行所 自治労連愛知県本部 名古屋市北区柳原三丁目7番8号
URL <http://www.jaichi.jp> TEL (052) 916-2251
Eメール info@jaichi.jp FAX (052) 916-2308

2005.2.10
No.893

発行責任者 梅野敏基 定価 10円
組合員の購読料は組合費のなかに含まれています

第94回県本部 春闘臨時大会 〈発言特集〉

たたかてこそ労働組合

1月29日、中村区役所ホールで愛知県本部第94回臨時大会が開催されました。憲法を守る運動を大きく広げ、国民・労働者の要求実現のたたかいの前進を求めてたたかう05春闘方針を確立しました。135人の代議員と8人の中央委員が参加し、25人が発言しました。



佐賀代議員
(名水労)

忘れかけていた自治体労働者の思いを確認できた。直営基本の技術水準の高さでライフライン守る役割を果たした。



村田代議員
(名古屋職労)

新規採用100%、技能労務士の10月採用も実現させた。採用の24人全員が組合に加入した。関連労働者水道検針員を組織し水道サービス労働者も多様な組織形態を模索していきたい。新潟震災では、2カ月にのべ1006人が派遣された。現地の人に感謝され、

昨年の新規獲得では念願の70%を超えることができた。現在も維持している。大きく位置づけてきたことは、職場で声をかける人を



意気高く開催された第94回臨時大会 (中村区役所ホール)

25人の代議員が発言

キチンとつくっていくこと。支部長・書記長だけが奔走するのではなく、配属される職場の先輩同僚が声をかけるようにしてきた。

「できたら入ってください」と遠慮がちに勧誘せず、役員が「組合に入ろう」と訴える役割分担をつくっていくことが重要ではないか。



中神代議員
(豊橋市職労)

青年部活動について報告したい。労働組合の敷居が高くなっているのを、青年部で敷居を低くしようと努力している。交流企画を大切にしている。豊川市職労の青年部にも声をかけ、広域の交流をしてきた。平和学習も位置づけ、県本部青年部の横浜・横須賀軍港ツ

アーも30人目標に取り組んでいる。賃金・権利問題の学習会に昨年は、青年150人が参加し、今年は250人が参加した。



築瀬代議員
(西尾市職)

厳しい状況でも臨時職員の忌引き休暇の有給化を実現

現 刈谷市の倉田さん過労死問題で西三地区協が中心となつて奮闘してきた。県本部加盟の組合の協力で13000名を超える刈谷市長宛の「公務災害認定を求め署名」を提出することができた。昨年12月、基金支部に要請してきたが、公務災害認定勝ち取るために署名を継続していきたい。刈谷市長に、遺族の口から直接申し入れる機会をつく

るよう努力している。



矢野代議員
(長久手町職労)

7級ワタリを実現したが、保育手当、2km未満の通勤手当が廃止された。組合員アンケートや職場ごとに丁寧な話し合いをして執行部の提案を受け止めてもらっている。一方で、給食センターの退職不補充問題がでてきた。今後も職場の声を大切に、住民の信頼を得る活動をしていきたい。



大橋代議員
(半田市職)

臨時保育士の取り組みについて発言したい。相談が来たのが始まり。今春闘で全保育士を対象にアンケートを取り始めた。ほとんどの人が回答を寄せてくれた。組合加入をしてもらいうよう奮闘していきたい。



坂口代議員
(春日井市職労)

元気になれるよう、役員

春闘50周年の節目の年。1955年に統一した春闘が始まり全国的な賃金水準をかつてきました。今日、雇用問題も417万人がフリーター、ニートという若者が50万人になっています。7兆円の国民負担をおしつけ、定率減税の廃止や消費税の増税をね

らう小泉「構造改革」路線は財界の21世紀戦略によるものです。昨年7月の愛知県本部定期大会で、「憲法を仕事とくらしに生かそう」を確認しました。改憲勢力は、07年に改定を狙っています。国会の衆参議員の改憲勢力は9割ですが、国民世論

の若返りも進め、学校給食会の組織化に向けて取り組みを進めている。清掃職場はちよつと元気が足りないと言ふことで賃金問題で学習会を準備している。トヨタ総行動では現業評でバス1台で参加するよう取り組んでいるところだ。役員の世代交代のバトンタッチができるようにしていきたい。



中根代議員
(蒲郡市職)

保育園の民営化問題で、市内18園の保護者を対象に学習会や全体会、地域での学習会をすすめてきた。この取り組みの中で公立保育園への信頼感が高いことが判った。1月19日、4650筆分の署名を提出した。蒲郡の保育を市民との運動や議論の中で練り上げていきたい。今年は公務員賃金の厳しい制度改悪が予想されている。あるべき姿を積極的に議論してほしい。



尾崎代議員
(蒲郡市職)

は9条改憲に反対が3分の2となつており展望はあります。4月の名古屋市長選挙をくれまつ佐一候補の勝利で松原名古屋市政を変え、「小泉構造改革ノー」「憲法改悪ノー」を言えるよう全力でたたかいていきましょう。

介護保険が導入されて以来、要求書の提出もできずにいた。市との委託関係もなくなり、交渉を持てなかった。支援費が導入され、財源に関わることを要求すると、「社協だけひいきできない」などその場逃れの回答。指定管理者制度導入についても問題となつている。45才退職勧奨問題など、組合として粘り強く交渉していきたい。



小山代議員
(豊橋市職労)

合併による病院の統廃合、特区、株式会社化、看護士の派遣化攻撃があるが、自治体病院は「住民の命と健康を守り、安心してかかる」のが役割ではないか。病院訪問を9月から始め、県内20カ所の病院を訪問してきた。県立病院は労基法の全面適用になっている。同時に、人事評価制度が導入されたりしている。



猪飼代議員
(名古屋職労)

イギリスのヘンリー皇太子がナチの服装を着て非難を受けた。NHKの問題では、誰が何を言ったかが問題ではなく、何が消されたかが問題。日本軍による従軍慰安婦、天皇の戦争責任など、政治家の圧力で消されたことが問題。衛生支部内に憲法9条を守る会をつくることを決めた。



中川代議員
(名古屋市職労)

私たちの運動によって新規採用を視野に4月1日募集をさせるところまで押し返すことができた。

市職労がなぜ選挙をたたかうのか。市長選挙は、我々の賃金労働条件を決める市長を自分たちが決めることができる機会です。元気に働き続けられる職場づくりでもある。松原市長はこの4年で2200人の人員削減を実行してきた。リストラされる中で、中部空港、徳山ダム、市会議員の海外出張費など財界奉仕の予算は聖域化されている。現場に近い職員は市民の怒りに立たされる。市民に喜ばれる仕事したい。組合の力で松原市長の退陣を！



中野代議員
(新城市職労)

自治体一般の分会として5名で発足し、現在は173名の組合に。今年10月に鳳来・作手との合併が予定されている。奥三河の労働組合の拠点として、15年の組合活動を発展させ、医療部会・都市職の仲間とともに運動をすすめています。



保浦代議員
(犬山市職労)



矢野代議員
(新川町職労)

合併により保育水準を低い清洲町にあわせようとしている。土曜保育は拠点方式にするため、新川町では4園が2園に減らされる。町長と保護者との話し合いを持って、土曜のみ転園してもよいという変化をつくり出してきた。県本部の協力、清洲町5園でピラ配布も行った。組合員が減らぬよう頑張りたい。



波多野代議員
(名古屋市職労)

学校用務員として働いている。当初、市は調理員は退職者不補充で考えていたが



高野代議員
(自治体一般・米山分会)

就業規則の一方的改定や賃金カット、定年引き下げなどにより退職を迫られ、臨時職員として働くか迫ら



嶺村代議員
(名古屋市職労)

愛知県内すべてを視野に保育園訪問を計画。12月に3回の統一行動をして、1000以上のうち800を超える保育園訪問を終えた。3月までに残りやりきりたい。岩倉の4年目の男性保育士も美浜町なら回れると訪問してくれた。豊橋市内でも、民間保育園を訪問し、園長・主任と子どもを大事にしていきたいなどの話ができた。報告があった。自治体全国保育労働者のつどいを来年1月28日、29日国際会議場で開催する。



村松代議員
(豊橋市職労)

調整手当の一定の削減など手当見直し提案がされた。運動の強化にむけて1月21日中央委員会で確定のとおりを議論した。本庁役員は「みんながよく団結



加藤代議員
(瀬戸市職労)

3月の万博開催を前に、瀬戸の街は大きく変化している。38名が退職するが、退職者会に迎え入れるとくみを進める。4月に7名の新規採用が予定されている。



山本代議員
(幸田町職労)

退職時特昇問題で、継続交渉となっている。また、実行ある36協定を締結していくことにしている。イベント行政で地域の活性化はできていない。瀬戸の陶磁器産業は平成5年に686事業所あったが今は半分になった。組合としても自治研活動をすすめたい。



松本代議員
(港職労)

リーを平和展示に使うことを支援したい、と回答があった。平和行進など地道にやってきた成果。トヨタ総行動は大企業の社会的責任を問う大事なこと。成功させよう。



高木代議員
(港職労)

リーも作って、東海北信ブロック女性部の交流会にも活用したい。女性の均等待遇など求めて市長会などに要請を予定している。



加納代議員
(みな職労)

じょうに、ぼうはていになって頑張りたい。



笹原代議員
(名古屋市職労)

で略称「みな職労」でいく。

水族館時代は60名の組合員。今は財団と統合して100名位に増えている。8割近くが組合員になっている。財団のほうは組合がなく、加入をよびかけて、なぜ組合が必要かを訴えてきた。指定管理者制度の導入も提案されている。今後公共の施設は、水族館はどうあるべきなのか協議をしていきたい。正式な組合名は「みなと振興財団労働組合」



小遣いは
月2万円！

子ども3人は大学生 消費税大増税は許せない

瀬戸市職労 遠藤 勇さん

家族酷書その3

瀬戸市役所に18歳から勤め今年丸32年を迎える遠藤さん。現在は組合の書記長として活躍中です。家族は専業主婦の奥様と子ども3人の5人家族。今は一番下のお子さんが大学2年生で北海道の北見に下宿中です。毎月の仕送りが5万円と東京に比べれば安くすみませんが、遠藤さんには影響が。遠藤さんの小遣いはちなみに月2万円。お酒を飲みに行かないし、お昼も奥様手作りのお弁当

ディーゼル規制で車の買換え

自宅は持ち家で築60年と歴史があり、遠藤さんの結婚の際にリフォームして以来手をつけていないそうです。車は1台所有していますが、ディーゼル車のため来年以降規制にひっかかり車の買い換えを迫られています。今からなんとかしなくちゃと頭を痛めているそうです。

毎月貯金をするのも厳しく、月の赤字をボーナスで穴埋めしながらの生活に、「今はもう慣れてしまいいこ

うせん kids http://www.wgctv.ne.jp/yuanteng/index.htm

遠藤さんは「健康で働き続けてこられたからなんとかやってこれた。定率減税の廃止や消費税の大増税は絶対許せない！」と切実に語りました。